

新 しい 本

『まるまるの毬』

西條奈加 講談社
治兵衛は親子三代で営む江戸菓子舗「南星屋」の店主。小店ながらも銘菓揃いで大繁盛。でも治兵衛一家にはある秘密が……。おいしそうなお菓子とちょっぴり悲しく心温まるストーリー。



『君とまた、あの場所へ シリア難民の明日』

安田菜津紀 新潮社
若き女性フォトジャーナリストの安田さんがシリアに赴き、その地を歩き見て、人と触れ合い、耳を傾け続けた。ここに書かれていることは「異世界」で起こっていることではない。恐怖と不安、絶望、別れと出会い、涙と笑顔。これらすべての真実を知ってほしい。シリアで生きる人たちの息吹を感じてください。



『桜風堂ものがたり』

村山早紀 PHP 研究所
書店員で「宝探しの月原」と呼ばれた月原一整が万引き事件で責任をとり辞職。傷心のまま以前ネットで知り合った桜風堂書店の店主に会いに行くことに。そこで出会った一冊が一整にある奇跡を巻き起こす。



釣り人たちの参考書！

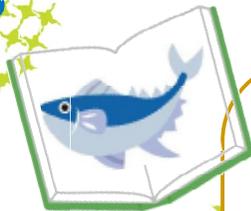
『新聞力』

できる人はこう読んでいる』
斎藤孝 ちくまプリマー新書
新聞を読んで、身につく力はたくさん！社会力・質問力・思考力・見抜く力・文章力・雑談力などなど。
新聞の読み方や見方のコツを分かりやすく伝授☆
真の教養を身につけてカッコイイ大人になりませんか！？



『水族館発！みんなが 知りたい釣り魚の生態』

海野徹夜・馬場宏治 成山堂書店
この本ができたきっかけは水族園の水槽のブリを1匹釣ったらスレ(魚が警戒して釣れなくなった状態)で他の魚が釣れなくなったことからだった！
釣り大好き飼育員が日常業務でこっそり眺め、試し、実戦☆
釣り魚の秘密を教えてください。



その他の新着図書

- 『この青い空で君をつつもう』 瀬名秀明 双葉社
- 『不機嫌な姫とブルックナー団』 高原英理 講談社
- 『放課後の地球防衛軍1』 笹本裕一 早川書房
- 『ちどり亭にようこそ』 十三奏 KADOKAWA
- 『新約とある魔術の禁書目録17』 鎌池和馬 KADOKAWA
- 『終わりのセラフ7』 鏡貴也 講談社
- 『小さな癒しの世界を楽しむ テラリウム』 松昭教+bookwall 電波社

～ちくまプリマー新書(筑摩書房)～

- 『身体が語る人間の歴史』 片山一道
- 『冒険登山のすすめ』 米山悟
- 『レジエンス入門』 内田和俊

～New! 雑誌～

- 『磯釣りスペシャル3月号』 内外出版社